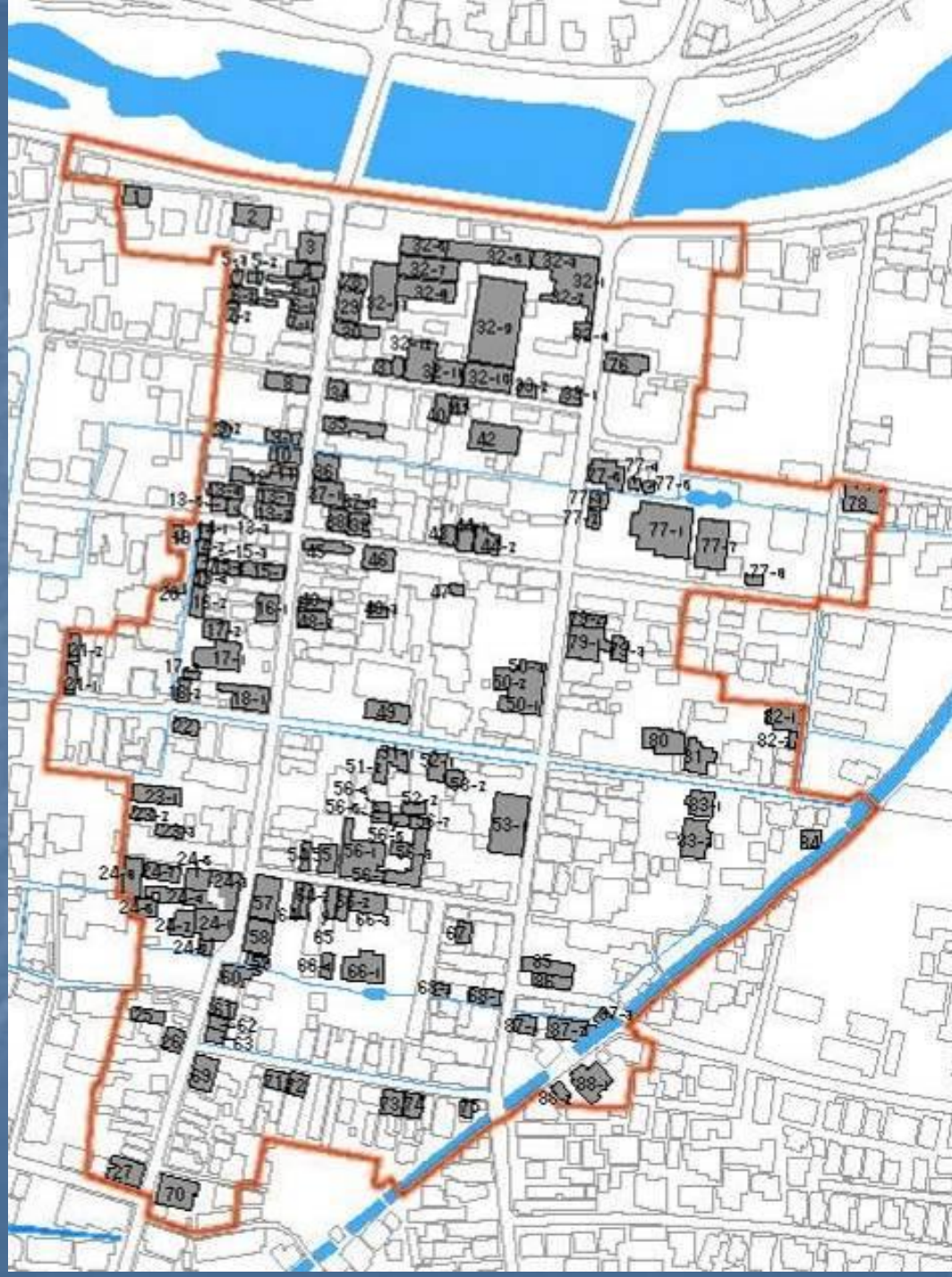
豆田町の歴史的建造物と景観をどう守っていくのか

豆田町伝建保存会

豆田町伝建保存地区
約10.7ha

- 伝統的建築物　169件
- 伝統的工作物　86件
- 環境物件　41件
- 地区内人口　540人
- 地区内世帯数　226戸

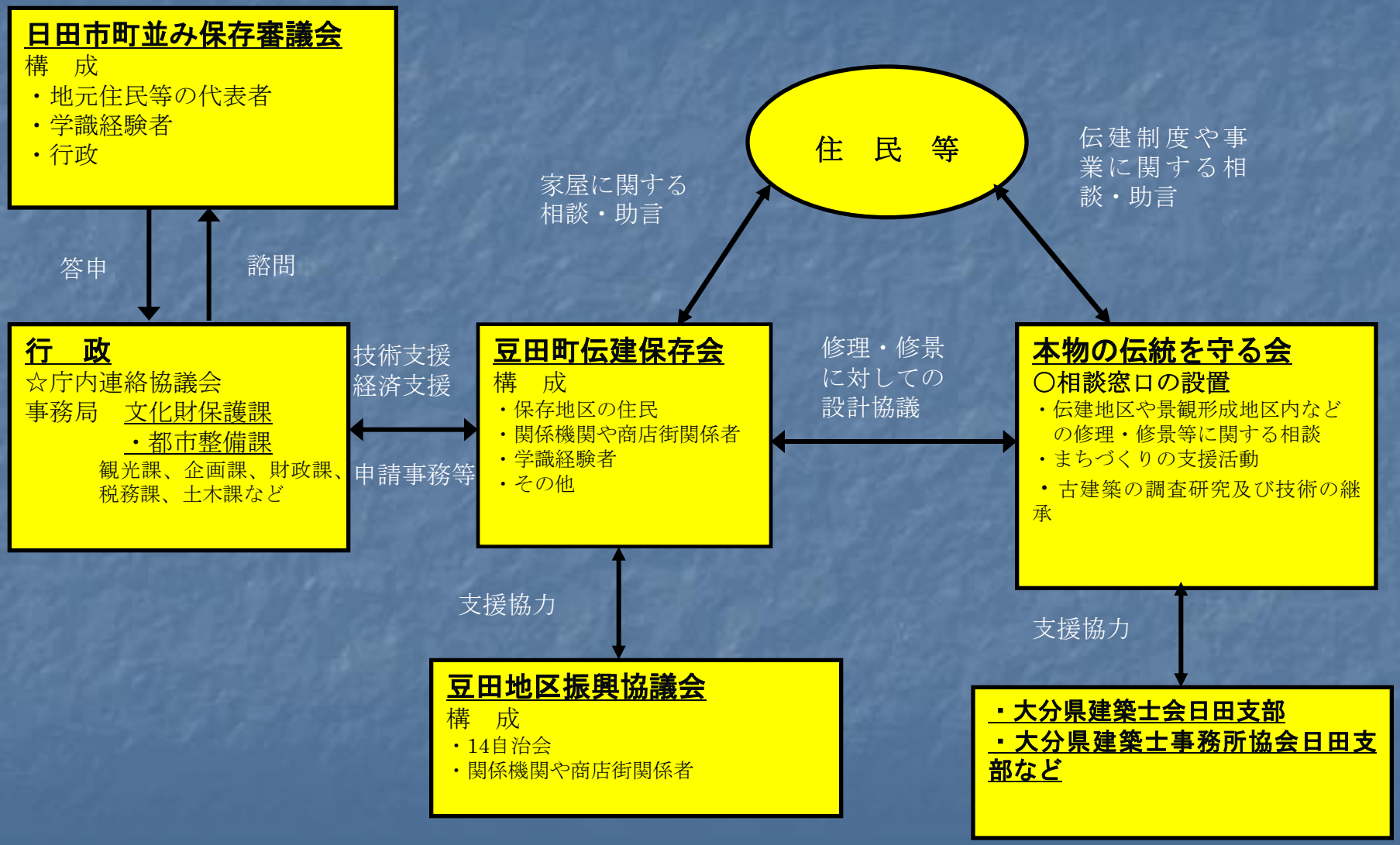


豆田空撮写真

豆田町伝建保存会

1. 発　　足　　平成17年4月1日（同年3月29日承認）
　　発足総会は平成17年6月13日
2. 目　　的　　伝建地区における歴史的町並みを貴重な文化遺産として守り伝えるとともに積極的な活用を図ることによって、住民意識の高揚を図り、住民の手による歴史的まちづくりに広く寄与すること。
3. 構　　成　　正 会 員：本会の目的に賛同する豆田地区振興協議会の地区内に属する18歳以上の個人及び団体
　　平成23年現在　193名

町並み保存の推進体制


日田市町並み保存審議会
構　成
・地元住民等の代表者
・学識経験者
・行政
答申
諮問
行　政
☆庁内連絡協議会
事務局　文化財保護課
・都市整備課
観光課、企画課、財政課、税務課、土木課など
技術支援
経済支援
申請事務等
住　民　等
家屋に関する相談・助言
伝建制度や事業に関する相談・助言
豆田町伝建保存会
構　成
・保存地区の住民
・関係機関や商店街関係者
・学識経験者
・その他
修理・修景に対しての設計協議
本物の伝統を守る会
〇相談窓口の設置
・伝建地区や景観形成地区内などの修理・修景等に関する相談
・まちづくりの支援活動
・古建築の調査研究及び技術の継承
支援協力
支援協力
豆田地区振興協議会
構　成
・14自治会
・関係機関や商店街関係者
・大分県建築士会日田支部
・大分県建築士事務所協会日田支部など

保存会活動の基本方針

- 修理事業の推進
- 防災センター整備事業の推進
- 豆田町並み通信の発行、講演会の開催による啓発活動事業の推進
- 三者会議による情報の共有、修理事業の効果的推進
- 屋外広告物検討部会による広告物のガイドラインの検討
- 全国大会・町並みゼミなどへの参加による先進的活動の勉強
- 協賛団体・協力団体との共同行動によるインフラ事業および観光事業の推進

会員証の発行

豆田町伝建保存会会員証
会員証氏名
住所
① 私は豆田町伝建保存
② 私は豆田町伝建保存会の会員です
NO
年
平成
年
豆田町伝建保存会
豆田町伝建保存会
豆田町伝建保存会

豆田町並み通信の発行

防火訓練（１月２６日）

設計相談会の開催

総会の開催

町並み講演会の開催

町並み保存審議会への参加

防災計画策定作業部会の開催

H23・9.16

視察の受け入れ
（韓国全羅南道より）

修理工事経過

４月　　設計相談会（h21までは7月）
１１月　　修理物件の確定
３月　　予算の確定
３月～４月　所有者の意思確認

補助金交付要綱について

伝統的建造物の修理について

- 主屋・土蔵は八割以内の限度額800万、
- 同設計監理にかかる経費は八割以内の限度額50万

伝統的建造物以外の建物等の修景について

- 主屋・土蔵は六割以内の限度額400万、
- 同設計監理にかかる経費は六割以内の限度額50万

設計相談会の開催実績

設計相談会の開催　毎年4月に2日間開催

- 17.09.01～09.02　（25件の修理要望）
- 18.08.23～08.24　（15件の修理要望）
- 19.08.22～08.23　（13件の修理要望）
- 20.07.01～07.02　（12件の修理要望）
- 21.07.01～07.02　（11件の修理要望）
- 22.04.26～04.27　(11件の修理要望)
- 23.04.27～04.28　(5件の修理要望)

これまでの修理実績

この７年間の修理実績(但し、伝建建物修理２件は平成２４年までの二ヶ年事業)

伝建事業　による　修理事業			街環事業　での修景		合計
建物	工作物	環境物件	建物	工作物	
34件	2件	1件	9件	4件	50件

修理緊急度順位表

修理物件の順位付け

診断概要		修理希望年	A 健康診断結果												B その他の参考項目					A計	B計	A+B
の診断概要	相談内容		外壁	開口	窓口	戸袋	屋根	軒裏	屋根	基礎	地盤	柱	梁・桁	腐れ	所等	立地	欠陥	住者				
、外壁等は放置されている状態であり ラスの落下の危険性あり	雨漏りによる痛みが著しい。柱・梁の漏水による腐食。	直	5	5	4	0	3	5	5	5	5	5	5	5	4	2	1	0		52	7	59
屋根の修繕	床の不陸及び、南外壁の土壁剥落と下屋軒先崩落が著しい	直	4	2	5	5	5	5	3	5	5	3	3	5	4	0	0	0		50	4	54
	屋根葺替、外壁の修繕、蟻害による2階梁の補強、復原等	直	4	4	5	3	3	4	4	5	4	4	4	5	2	2	0	0		49	4	53
	屋根葺替、外壁の修繕、蟻害による2階梁の補強、復原等	直	3	3	5	4	3	4	4	4	4	5	5	4	2	3	0	0		48	5	53
床の不陸	外部に関して出来る限りでの復原はしたいが、車庫の機能を持たせたい	直	4	3	5	5	3	5	2	2	4	4	5	5	4	1	0	0		47	5	52
屋組みは倒壊寸前	主屋根の雨漏りだけを修理したい、その他は修理の意思はない。老人1人住まいで費用をかけるのは無意味と思っている	計画無	4	4	4	4	5	4	5	3	3	4	5	4	0	0	1	1		49	2	51
があると考える。申込当初より仮設上 脚部の水路護岸を破している	雨漏りのため瓦葺替、柱梁の補強、内外部の修繕	直	5	5	5	0	3	3	4	4	4	3	2	4	6	0	0	0		42	6	48
化による雨漏り	雨漏り等で傷んでいるところを修繕しておきたい	直	3	3	4	0	4	4	5	4	4	4	4	4	2	1	0	1		43	4	47
荷重を支えきれなくなっている	梁の補強、倒れの建て直し、床補強(構造補強)及び外壁からの漏水修繕	直	4	4	2	2	4	4	3	5	4	4	5	5	0	0	1	0		46	1	47
壁を含む全体の修理	出来れば綺麗にしたい。屋根・壁・建具等　復原も考えにある	直	3	3	4	5	3	3	4	4	3	5	3	5	0	0	0	1		45	1	46
新しい	復原もさることながら、全体的な老朽化が悩んでいる。周囲が綺麗になり逆の意味で目立ち始めた	直	4	3	3	0	3	4	5	3	3	4	3	3	5	1	0	0		38	6	44
外壁に及ぶ増築部分の撤去が必要 検っている	店舗部分をメインに考えている。店舗を奥に引きたい全体に崩き壁落ちがある。床の不陸や柱の倒れが心配	未定	3	3	4	0	4	3	4	3	3	3	4	3	5	2	0	0		37	7	44
	雨漏修理・防蟻処理	直	3	4	3	3	1	4	4	3	2	4	4	5	2	1	0	0		40	3	43
CBとなり、柱が切られている	昭和の修理により壁部分がCBとなり、柱の切り上げ・土壁が無くなっており、上部外壁の土を支え切れていない	直	5	3	2	0	1	5	4	4	4	5	3	2	0	0	0	0		38	0	38
上に復原、景観に合わせたい。創建	直にという訳ではないが、外壁のトタン張等が違和感を感じる。老人1人だが仕上げ等を変える方がいいだろうと思っている。	未定	2	2	3	3	3	3	3	2	3	3	2	4	0	1	0	1		33	2	35
ード張りの影響で柱が腐れている可 沈下。	白蟻被害箇所の修繕。屋根と外壁修繕。	H23頃	3	1	1	3	2	2	2	2	5	3	3	4	1	2	0	0		31	3	34
	不具合を修理して、住みたい(現在入留米在住)	直	3	2	4	3	5	3	1	2	1	2	2	1	1	1	1	0		29	3	32
材腐食の補強及び瓦葺き替え	屋根漏水の被害	直	1	1	1	0	4	5	5	2	2	2	2	1	4	1	1	0		26	6	32
の感円。	店舗と住居部を内部で仕切りたい。	直	3	2	2	0	4	2	2	4	2	2	3	1	2	2	0	0		27	4	31
いる	外壁北・西面の修理をしたい	直	5	5	5	0	3	3	3	1	1	2	1	1	1	0	0	0		30	1	31
上に復原、景観に合わせたい。創建	直にという訳ではないが、外壁のトタン張等が違和感を感じる。老人1人だが仕上げ等を変える方がいいだろうと思っている。	未定	2	2	1	5	3	4	1	2	2	2	3	2	0	1	0	1		29	2	31
	瓦が劣化しているため屋根補修と外壁・庇の修繕	直	3	0	2	0	3	4	5	1	1	2	2	3	2	2	0	0		26	4	30
	数年先になるが、町並みに合わせた改修をしたい	未定	4	3	1	0	0	3	1	3	3	2	4	1	1	3	0	1		25	5	30
	瓦が劣化しているため屋根補修と外壁・庇の修繕	直	3	0	2	0	3	4	5	1	1	2	2	2	2	1	0	0		25	3	28
の修繕、瓦及び樋の修繕。1階は次	当面は外壁落成の修繕。いずれ1階部分の復原をしたい	直	3	0	4	4	2	4	1	1	1	1	2	1	3	1	0	0		24	4	28
雨漏り、北側外壁劣化	正面アルミサッシを木製建具にしたい	直	3	3	4	3	1	1	1	1	1	1	1	4	2	1	0	0		24	3	27
修繕工事をする	母屋が下り建具の開閉に不具合が出ている。床下も沈みが気に	直																				

防災事業及び豆田町伝建保存会活動拠点となる施設。整備・改修が予定されている

防災センター

豆田町伝建保存会事務所

伝建事業における日田市の予算（単位千円）

事業項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
伝建保存事業	35,537	56,142	55,358
〃防災事業	99,116	14,000	13,700
街環事業	0	32,817	30,849

伝統的建造物の修理工事着工式

平成17年6月17日

修理家屋を示すプレート

日田市豆田町伝統的建造物群保存地区

修　理　中

豆田二丁目横尾哲哉家保存修理工事

保存計画番号　　４５　　明治１０年代

設計監理　　Ｙ。設計一級建築士事務所

施　　工　　高場組（株）

伝建地区の修理・修景は豆田町伝建保存会までご相談下さい。

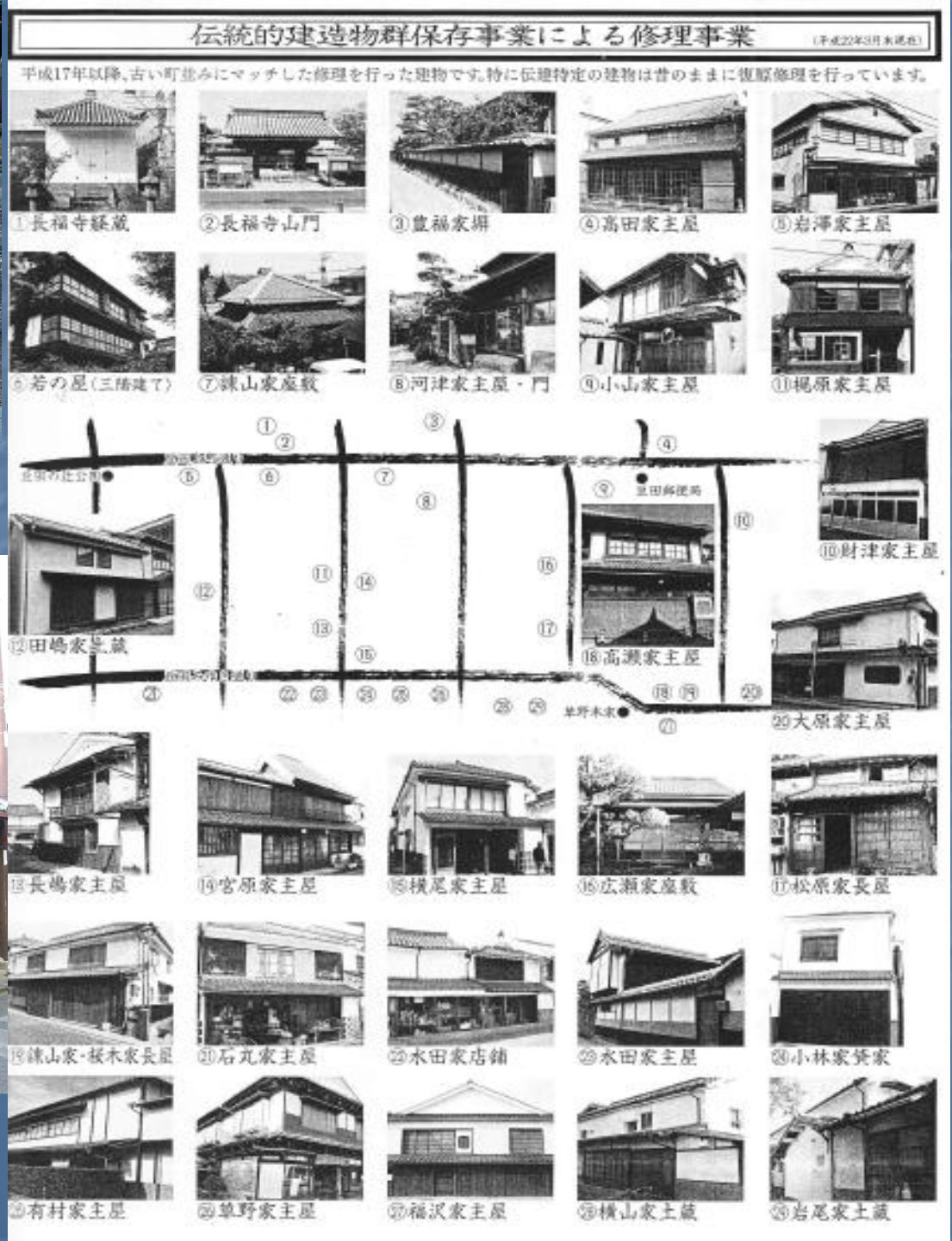
連絡先：事務局　木下
２２－２９１３

修理現場の写真

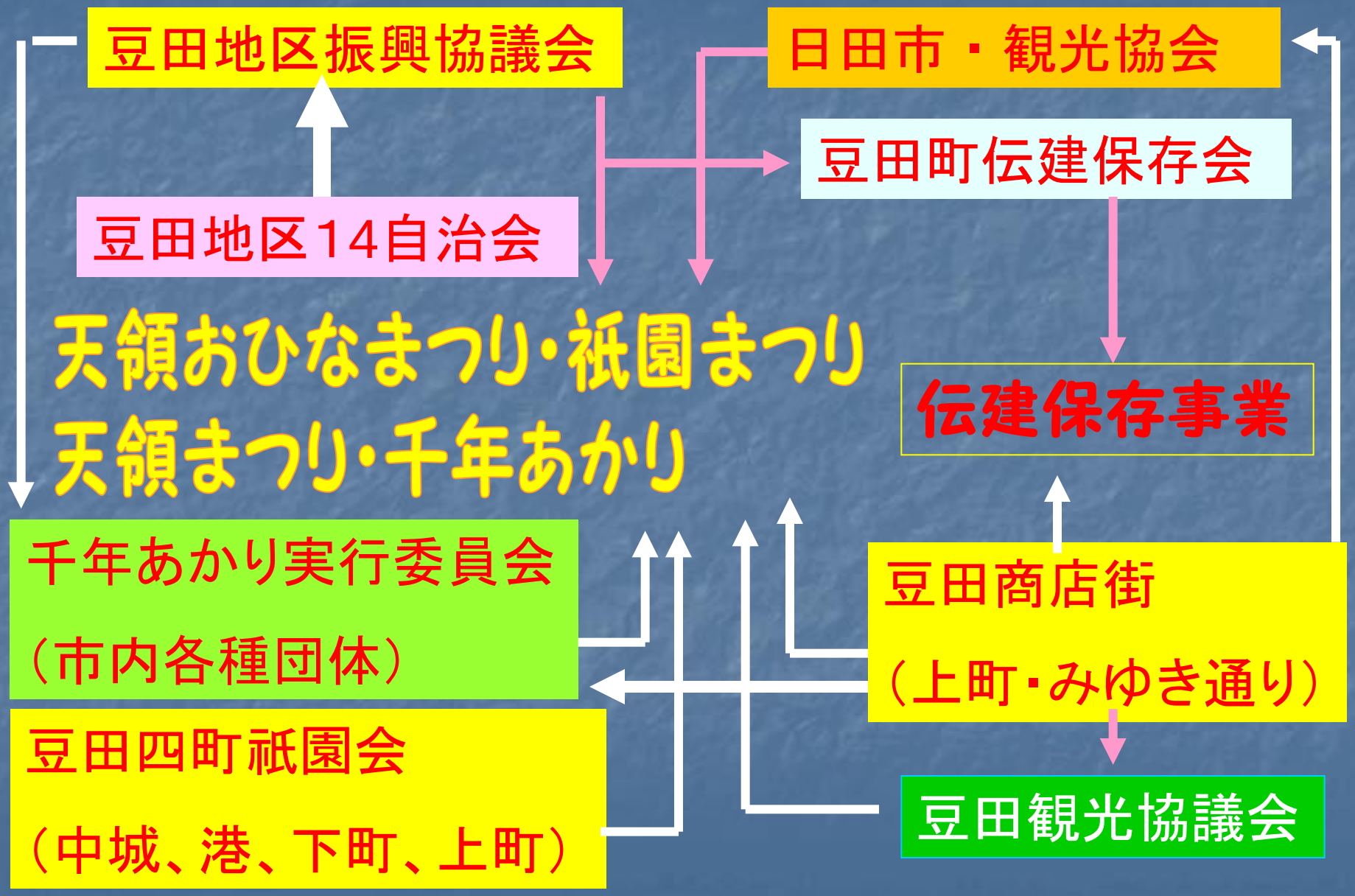
修理現場の見学会の実施

22.23年事業で完成した柞原家土蔵と水路護岸

２３年度事業で完成した草野家長屋の原商店と早羅



豆田地区の各種行事と組織概要



伝建地区を取り巻く現状と課題

高齢化率が高く、跡継ぎがいない世帯が多数存在しこの地区の守り手をどう育てていくのか。

- 220世帯の高齢化率　40%
-
- 豆田第二自治会の場合(総数155名)
- 0歳～18歳　‥　8名　5．2%
- 18歳～40歳　‥29名　18．7%
- 40歳～65歳　‥45名　29．0%
- 65歳以上　‥73名　47．1%
- 40歳台以下の跡継ぎが同居している世帯20%未満

豆田町伝建保存会の役員構成

- 自治会長　　‥6名
- 商店街会長　‥2名
- 団体会長　　‥2名
- 各町推薦　　‥4名
- その他　　‥1名

（理事･事務局15名の内訳）

- 役員の平均年齢も65歳を超えている。 機動的対応が可能か

活性化のためのキーワード

- 地区外からの出店者との協力・共同
- まつりへの積極的参加
  (おひなまつり、祇園まつり、千年あかり)
- 財政的支援→祇園まつりへの協力金支出
- 役員への登用

- 大学との連携
- 豆田町の歴史や町おこしを研究している別府大学、大分大学、九州大学との連携